KIT虎ノ門大学院　学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。（連絡先：虎ノ門事務室［メールまたは電話］）
※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科　目　名	科目コード	単位数	開講期	
技術と商品・事業開発特論 Technology Business Development	Z 137	1単位	3学期	

科　目　分　野	課　程　領　域
技術経営・AI	イノベーションマネジメント共通科目

担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー
清　威人	-	事前アポイント

関連している科目(履修推奨科目)

技術経営要論		

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

自動車、コンシューマーエレクトロニクス製品をベースに製品開発の基本的なプロセス、知っておくべき概念、用語など学習し、その上で競争優位を構築するための開発L/T短縮、販売後のサービスなどをも含めた形での付加価値提供の手法について学習する。
授業の中では講義に加え以下を行う
・講師の自動車会社勤務時代の経験、顧客先でのコンサルティングを通しての経験などからの知見の解説
・実際に新商品;サービスなどを立ち上げたゲストスピーカーの講演
・講師自身が自社で行ってる事業開発の事例の解説(スマートファクトリー、スマートタウン等)
・講義の中で得た知識を自分自身のビジネスに適用した仮説を作り、教室にて発表

到達（修得）目標

新製品の立ち上げをマネジメントとして企画・管理するために必要となる基本的な知識の修得。

受講対象者

技術企画、製品企画、新規事業企画、マーケティング企画、管理に関する業務能力を身につけることを目指している方。

履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分＝1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
※ 担当する教員は実務家教員とする。
※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域（Y軸）		ヒューマンパワー（Z軸）		思考プロセス（X軸）	
Y1:　基盤法令・テクノロジー		Z1:　問題発見力		X1:　企画	○
Y2:　応用法令･実務･テクノロジー		Z2:　独創力		X2:　構想	
Y3:　グローバル法令・実務		Z3:　問題解決力	○	X3:　調査･分析	
Y4:　マネジメント	○	Z4:　プレゼンテーション力	○	X4:　設計･開発	○
Y5:　戦略立案		Z5:　変革推進力		X5:　変革	○
Y6:　標準化		Z6:　コミュニケーション力		X6:　導入･運用	
		Z7:　リーダーシップ力		X7:　評価･検証	
		Z8:　ネゴシエーション力		X8:　リーガルマインド	
		Z9:　オーナーシップ力		X9:　ライフサイクル	○

プラクティカム

	イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1	AIMNEXTデモセンター(芝)見学	見学･フリーディスカッション	
2	講義で得た知識を履修者自身のビジネスへ適用した形での改善案の立案と発表	ケーススタディ･発表	
3	プレゼンテーション	講演･フリーディスカッション	

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評　価　の　要　点
出席･受講態度	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。授業内での貢献度を評価する。 そのうえで、最終テストにより授業内の理解度を確認する。
ケーススタディの発表、ディスカッションへの参加度合い	60%	
総合判定テスト	30%	
合計	100%	

テキスト･参考図書など		備　考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト （購入が必要）	適宜配布	
参考図書 （購入は任意・講師推奨）	「製品開発力」藤本隆弘　BetterBusiness Better World (businesscommission.org/)	
」		
適宜紹介予定		

＊ゲスト講師の日程は変更の場合があります

コマ	学 習 内 容		事前準備･課題	担当者	時間
1.2	**製品開発の基本を理解する** 製品開発の基本的な流れ（R&D,　市場調査、商品企画･デザイン、製品企画、製品開発、試作、量産、A/S）と、基本的な構成要素（メカ、エレキ、ソフト）、一般亭な組織形態について解説する			清	90分
	s				
	製品開発において理解しておくべき、概念、手法、システムを理解する 製品開発をマネジメントの視点から理解するための概念（転写、原価企画）や、知っておくべき手法（FTA.FMEA等）、仕組み（部品表　等）、システム（CAD,CAE等）を解説する			清	90分
	イベント				
3.4	**製品開発のプロセスを理解する** 企画から量産までの主要なプロセスについて、そこでの作業内容、成果物、課題などについて解説する			清	90分
	イベント				
	製品開発から事業開発への流れを理解する 時代製品単体の開発から、製品をベースにしたサービスの販売までを含む事業での開発が求められて来ていること、製品の機能ではなくライフスタイルでの意味を求められてきてる事について事例も交えながら解説する			清	90分
	イベント				
5.6	**講師自信の事例を通して、実際の事業開発を理解する** AIMNEXTにて講師が実際に企画ー開発してきた事業（スマートファクトリー、スマートタウン）の事例についてデモお交えながら解説する			清	90分
	イベント	校外のデモセンター見学と現地でのディスカッション（コロナの状況次第）			
	ケーススタディ 授業を通して得た知識をベースに、自社もしくは仮説の会社の事業･製品･サービス開発に関しての改善･改革の案を立案しし発表する			清	90分
	イベント	現地でのケーススタディ発表			
7.8	**ゲストスピーカーによる講演** 実際に、新製品もしくは新サービスを立ち上げた方を招いての講演			清	90分
	イベント	ゲストスピーカーとのフリーディスカッション（予定）			
	まとめ 基本的な概念に関する習得度合いの確認と、全体を通しての疑問点などに関するフリーディスカッション			清	90分
	イベント	習得度合いの確認テスト			

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。